

モニタリングチェックシート（平成26年度）

<評価>

優：特記すべき実績・成果が認められるもの

良：管理運営が良好と認められるもの

要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

施設名	大泉障害者地域生活支援センター
指定管理者名	社会福祉法人 東京都知的障害者育成会
評価者	障害者施策推進課長

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 効率的運営・効率化への取り組み <ul style="list-style-type: none"> 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 計画的な予算執行であるか 管理業務費の経理および実費負担金等については、適正な処理を行っているか(チェックリストの活用) 帳簿等を整備して、管理業務費の執行状況等を記録しているか 収納した金銭等の取扱いについて、管理体制を構築しているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 基本協定や事業計画書に基づく事業運営がなされている。 計画的な予算執行、会計処理の帳簿整理等が行われている。 実費負担金(事業の参加費等)は、適正に管理されている。
2 施設管理運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 物品購入および再委託の際に、区内業者の活用に努めているか 設備・備品の保守点検等管理を適切に行っているか 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 職員配置は協定を遵守しているか 職員について区内雇用の促進を図っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 物品購入等における区内業者の活用に努めている。 設備・備品の保守点検等の管理を適正に行っている。 職員配置は協定を遵守し、適正な運営体制を整えている。
3 サービスの維持・向上に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取り組みを進めているか 利用者ニーズに対応できる事業を適切に実施しているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 地域との連携を図って事業を実施しているか 人権についての職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 	優	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援では、複雑な課題を抱えて対応が難しい利用者に対して、関係機関とくみ細かく連携し、丁寧に適切な支援を実施するとともに、民間計画相談支援事業者への助言等を通して事業者育成にも力を入れている。 利用者の希望を取り入れ、利用者主体で企画するイベントプログラムを新たに実施するなど、利用者ニーズや障害特性に応じたプログラムの提供に努め、年間利用者は10,500人(前年度比1.2倍)に増えた。 運営協議会の意見を受けて、地域住民が参加できる音楽会や落語会等のプログラムを新設し、利用者と地域住民が交流しお互いに支援しあうことで、地域住民との連携・交流を深めている。
4 法令遵守等 <ul style="list-style-type: none"> 職員の採用選考および勤務条件について、関係法令を遵守しているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 練馬区情報セキュリティポリシーに定める水準と同等もしくはそれ以上の水準を保障する対策を講じているか 個人情報保護条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか(チェックリスト、マニュアル等の活用) 情報公開条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 職員の採用選考等について、関係法令を遵守している。 緊急時等のマニュアルを整備し、必要な訓練等を実施している。 情報セキュリティポリシーおよび対策マニュアル等を定め、研修や職員会議を通じて周知徹底に努めている。 個人情報保護、情報公開等の規程を設け、チェックリスト等を活用し、適正な取扱いを行っている。
5 利用者評価等 <ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等の評価は良好か 運営協議会の評価は良好か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートおよび運営協議会からの評価は良好である。
総合評価 (講評)	良 <ul style="list-style-type: none"> 項目全般について区が求める水準を満たしている。 プログラム参加者の感想や運営協議会の意見を踏まえ、様々な障害特性を持つ利用者に合ったプログラムの実施や、利用者が地域資源を活用した事業を企画し、運営する活動を支援することで、利用者の日中活動の場を広げることにつながっている。 利用者が美化活動等の地域の活動に積極的に関わるだけでなく、地域住民と一緒に参加する活動を通して、地域住民の障害への理解の促進が図られている。 	